



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月9日

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店 上場取引所 東  
 コード番号 8244 URL http://www.d-kintetsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高松 啓二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務本部長 (氏名) 泉川 邦充 TEL 06-6655-7030  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日~平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	139,509	2.9	2,485	34.3	2,202	33.3	1,909	7.3
30年2月期第2四半期	135,565	3.3	1,851	105.2	1,652	119.2	1,779	92.1

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 1,607百万円(△12.4%) 30年2月期第2四半期 1,835百万円(95.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	47.30	—
30年2月期第2四半期	44.07	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	129,050	34,072	26.4
30年2月期	128,307	32,465	25.3

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 34,072百万円 30年2月期 32,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	281,100	△0.4	5,100	4.4	4,600	4.1	3,800	159.9	94.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	40,437,940株	30年2月期	40,437,940株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	60,502株	30年2月期	60,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	40,377,532株	30年2月期2Q	40,378,024株

(参考)

平成31年2月期の個別業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	258,900	△0.2	4,600	14.6	3,900	11.8	3,400	322.1	84.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
平成30年度第2四半期 決算補足資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年3月1日～平成30年8月31日)のわが国経済は、雇用、所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましては、西日本豪雨など相次ぐ自然災害の影響があったものの、大都市を中心に訪日外国人によるインバウンド需要が増勢を続け業績を下支えしたこともあり、全国百貨店売上高は堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、本年4月に策定いたしました「中期経営計画(2018年度～2020年度)」に基づき、新たな百貨店事業モデル及び将来の発展に向けた事業モデルの構築並びにあべの・天王寺エリアの魅力最大化に向けた諸施策を推し進めるなど、各事業にわたり収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①百貨店業

百貨店業におきましては、一層の集客力及び収益力の強化を図るため、あべのハルカス近鉄本店では、化粧品売場に新規ショップを導入するほか魅力的な催事を多彩に展開したことなどにより、売上高は本年8月まで21カ月連続で前年を上回り、百貨店業全体の業績を牽引しました。

また、地域ごとのマーケットニーズに合わせた店舗開発を行い、上本町店においてはホームファッション専門店の導入をはじめ婦人雑貨売場、食料品売場を再編集するなど全館にわたる大規模な改装を、奈良店では地域商社事業のコンセプトショップとして「大和路」の導入に加え、フランチャイズ方式による当社3店舗目となる高級食材スーパー「成城石井」を展開するなど、新たな魅力を発信する改装を実施してまいりました。

さらに、中国の越境ECサイトに当社ウェブ店舗を出店するなど、新たな事業モデルの創出、収益化に取り組みました。

この結果、売上高は128,541百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は1,989百万円(同57.2%増)となりました。

#### ②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売が好調に推移した一方で、株式会社シュテルン近鉄が輸入自動車販売の競争激化を受け減収となったため、売上高は7,277百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は93百万円(同39.8%減)となりました。

#### ③内装業

内装業におきましては、株式会社近創で前年に大口工事受注があった反動により、売上高は1,807百万円(前年同期比33.8%減)となりましたが、諸経費の削減により営業利益は328百万円(同7.0%増)となりました。

#### ④その他事業

その他事業におきましては、売上高は1,881百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は130百万円(同16.0%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は139,509百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は2,485百万円(同34.3%増)、経常利益は2,202百万円(同33.3%増)となりました。これに固定資産除却損等275百万円を特別損失に計上し、法人税等を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は1,909百万円(同7.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、次期基幹システムの構築に伴う無形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ743百万円増加し129,050百万円となりました。負債は、買掛金や預り金が増加した一方で、借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ863百万円減少し94,978百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ1,607百万円増加し34,072百万円となりました。この結果、自己資本比率は26.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ418百万円減少し3,079百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却、仕入債務の増加などにより7,483百万円の収入（前年同期は8,804百万円の収入）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、次期基幹システムの構築に伴う無形固定資産の取得による支出などにより3,409百万円の支出（前年同期は2,349百万円の支出）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金の返済などにより4,491百万円の支出（前年同期は6,643百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（平成30年3月1日～平成31年2月28日）の連結及び個別の業績予想につきましては、平成30年9月26日に公表した予想数値に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,497	3,079
受取手形及び売掛金	10,467	11,040
商品及び製品	7,881	7,515
仕掛品	254	342
原材料及び貯蔵品	27	30
その他	6,391	6,877
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	28,489	28,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,647	46,714
土地	27,087	27,087
その他(純額)	2,940	3,548
有形固定資産合計	77,675	77,351
無形固定資産	1,705	2,558
投資その他の資産		
投資有価証券	4,821	4,432
敷金及び保証金	10,754	10,730
退職給付に係る資産	3,113	3,155
その他	1,982	2,181
貸倒引当金	△234	△216
投資その他の資産合計	20,436	20,284
固定資産合計	99,818	100,194
資産合計	128,307	129,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,018	22,939
短期借入金	12,078	9,244
未払法人税等	734	412
商品券	8,894	9,213
預り金	27,641	28,994
賞与引当金	265	321
商品券等引換損失引当金	6,417	6,327
資産除去債務	23	—
その他	4,865	4,879
流動負債合計	81,939	82,332
固定負債		
長期借入金	8,830	7,329
退職給付に係る負債	471	479
厚生年金基金解散損失引当金	166	166
資産除去債務	297	301
その他	4,137	4,369
固定負債合計	13,902	12,646
負債合計	95,841	94,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	8,990	8,990
利益剰余金	6,768	8,678
自己株式	△84	△85
株主資本合計	30,674	32,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210	906
退職給付に係る調整累計額	579	581
その他の包括利益累計額合計	1,790	1,488
純資産合計	32,465	34,072
負債純資産合計	128,307	129,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	135,565	139,509
売上原価	103,901	106,473
売上総利益	31,664	33,035
販売費及び一般管理費	29,813	30,550
営業利益	1,851	2,485
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	50	50
未請求債務整理益	477	486
その他	117	100
営業外収益合計	646	638
営業外費用		
支払利息	94	62
商品券等引換損失引当金繰入額	513	505
その他	238	353
営業外費用合計	845	921
経常利益	1,652	2,202
特別利益		
固定資産売却益	340	—
環境対策費戻入益	101	—
特別利益合計	441	—
特別損失		
固定資産除却損等	64	275
特別損失合計	64	275
税金等調整前四半期純利益	2,029	1,927
法人税、住民税及び事業税	195	239
法人税等調整額	54	△222
法人税等合計	250	17
四半期純利益	1,779	1,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,779	1,909



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益	1,779	1,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	△304
退職給付に係る調整額	12	1
その他の包括利益合計	55	△302
四半期包括利益	1,835	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,835	1,607

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,029	1,927
減価償却費	2,834	2,739
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△252	△20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	56
商品券等引換損失引当金の増減額 (△は減少)	△99	△89
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24	8
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△47	△39
受取利息及び受取配当金	△51	△52
支払利息	94	62
固定資産除却損等	125	368
固定資産売却損益 (△は益)	△340	—
環境対策費戻入益	△101	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△505	△573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	563	330
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,256	1,921
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	986	1,495
その他	665	△179
小計	9,185	7,954
利息及び配当金の受取額	51	52
利息の支払額	△106	△67
支払補償費の支払額	△80	—
法人税等の支払額	△246	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,804	7,483

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,531	△3,376
有形及び無形固定資産の売却による収入	400	1
有形固定資産の除却による支出	△162	△495
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	11
長期貸付金の回収による収入	12	9
敷金及び保証金の差入による支出	△26	△0
敷金及び保証金の回収による収入	21	21
資産除去債務の履行による支出	—	△23
その他	△59	446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,349	△3,409
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,780	△2,024
長期借入れによる収入	4,200	700
長期借入金の返済による支出	△3,688	△3,011
社内預金制度の廃止並びに新制度への移管等による支出	△2,186	—
その他	△188	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,643	△4,491
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△188	△418
現金及び現金同等物の期首残高	3,232	3,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,043	3,079

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	128,541	7,277	1,807	1,881	139,509	—	139,509
セグメント間の 内部売上高又は振替高	60	1,829	1,684	1,813	5,388	△5,388	—
計	128,602	9,107	3,492	3,695	144,897	△5,388	139,509
セグメント利益	1,989	93	328	130	2,542	△56	2,485

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 平成30年度第2四半期 決算補足資料

## I. 連結決算関係

## 1. 連結決算の概要

(単位:百万円)

	平成30年度上半期実績			平成30年度通期予想		
	金額	対前年増減額	増減率	金額	対前年増減額	増減率
売上高	139,509	3,943	2.9%	281,100	△ 1,111	△ 0.4%
営業利益	2,485	634	34.3%	5,100	212	4.4%
(売上高営業利益率)	(1.8%)	(0.4)		(1.8%)	(0.1)	
経常利益	2,202	550	33.3%	4,600	179	4.1%
(売上高経常利益率)	(1.6%)	(0.4)		(1.6%)	(0.1)	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,909	130	7.3%	3,800	2,337	159.9%
(売上高当期純利益率)	(1.4%)	(0.1)		(1.4%)	(0.8)	
減価償却費	2,739	△ 95	△ 3.4%	5,300	△ 316	△ 5.6%
設備投資	3,422	1,357	65.7%	7,600	3,532	86.8%
金融収支	△ 10	32	—	△ 60	23	—
有利子負債(借入金)	16,573	△ 4,335	△ 20.7%	19,200	△ 1,708	△ 8.2%
連結子会社数	6社	0社		6社	0社	
持分法適用会社数	0社	0社		0社	0社	

(注) 有利子負債の対前年増減額は、前期末に対しての増減となっております。

## 2. 設備投資

(単位:百万円)

	平成30年度上半期実績		平成30年度通期予想	
	金額	対前年増減額	金額	対前年増減額
百貨店業	3,114	1,586	7,275	4,638
卸・小売業	285	△ 259	331	△ 1,061
内装業	13	13	22	22
その他事業	39	31	71	12
連結消去	△ 30	△ 13	△ 100	△ 79
合計	3,422	1,357	7,600	3,532

## 3. 連結貸借対照表の主な増減理由

(単位:百万円)

	当第2四半期末	前連結会計年度末	増減額	主な増減理由
流動資産	28,856	28,489	367	
受取手形及び売掛金	11,040	10,467	573	売掛債権の増
固定資産	100,194	99,818	376	設備投資による増
資産合計	129,050	128,307	743	
流動負債	82,332	81,939	393	
支払手形及び買掛金	22,939	21,018	1,921	仕入債務の増
短期借入金	9,244	12,078	△ 2,834	返済による減
預り金	28,994	27,641	1,352	預り金の増
固定負債	12,646	13,902	△ 1,256	
長期借入金	7,329	8,830	△ 1,501	返済による減
負債合計	94,978	95,841	△ 863	
株主資本	32,584	30,674	1,909	親会社株主に帰属する四半期純利益による増
その他の包括利益累計額	1,488	1,790	△ 302	主にその他有価証券評価差額金の減
純資産合計	34,072	32,465	1,607	

## 4. 販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

	平成30年度上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
人件費	9,406	272	3.0%
物件費	2,496	55	2.3%
宣伝費	2,984	99	3.4%
諸費	6,060	328	5.7%
賃借料	6,283	81	1.3%
減価償却費	2,645	△ 93	△ 3.4%
諸税	673	△ 7	△ 1.1%
合計	30,550	736	2.5%

## 5. 営業外損益

(単位：百万円)

	平成30年度上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
営業外収益	638	△ 8	△ 1.3%
受取利息	1	△ 0	△ 10.4%
受取配当金	50	0	1.2%
未請求債務整理益	486	8	1.8%
その他	100	△ 17	△ 14.8%
営業外費用	921	75	8.9%
支払利息	62	△ 31	△ 33.5%
商品券等引換損失引当金繰入額	505	△ 7	△ 1.5%
その他	353	115	48.4%

## 6. 特別損益

(単位：百万円)

	平成30年度上半期実績	
	金額	主な内容
特別損失	275	
固定資産除却損等	275	改装に伴う除却損等

Ⅱ. 個別決算関係

1. 個別決算の概要

(単位：百万円)

	平成30年度上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
売上高	128,789	4,910	4.0%
営業利益	2,168	735	51.3%
(売上高営業利益率)	(1.7%)	(0.5)	
経常利益	1,904	592	45.1%
(売上高経常利益率)	(1.5%)	(0.4)	
当期純利益	1,643	211	14.7%
(売上高当期純利益率)	(1.3%)	(0.1)	
減価償却費	2,640	△ 131	△ 4.7%
設備投資	3,114	1,586	103.8%
金融収支	23	△ 11	△ 32.9%
有利子負債(借入金)	13,800	△ 4,200	△ 23.3%

(注) 有利子負債の対前年増減額は、前期末に対しての増減となっております。

2. 店別売上高

(単位：百万円)

	平成30年度上半期実績		
	金額	対前年増減額	増減率
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	61,425	6,473	11.8%
上本町店	12,160	351	3.0%
東大阪店	1,578	△ 71	△ 4.3%
奈良店	12,304	382	3.2%
橿原店	7,771	△ 385	△ 4.7%
生駒店	3,725	△ 538	△ 12.6%
和歌山店	10,213	△ 46	△ 0.5%
草津店	5,482	△ 108	△ 1.9%
四日市店	9,908	△ 890	△ 8.2%
名古屋店 (近鉄パッセ)	4,220	△ 258	△ 5.8%
合計	128,789	4,910	4.0%

(注) あべのハルカス近鉄本店単独 59,536 6,863 13.0%

3. 商品別売上高

(単位：百万円)

	平成30年度上半期実績			
	金額	対前年増減額	増減率	
衣料品	紳士服・洋品	4,145	△ 92	△ 2.2%
	婦人服・洋品	20,587	△ 894	△ 4.2%
	子供服	2,421	116	5.0%
	その他衣料品	4,101	△ 426	△ 9.4%
	計	31,256	△ 1,297	△ 4.0%
身回品	13,683	1,329	10.8%	
家庭用品	家具	1,333	208	18.6%
	家庭電器	24	△ 2	△ 10.2%
	その他家庭用品	2,632	△ 6	△ 0.2%
	計	3,989	199	5.3%
食料品	40,966	△ 873	△ 2.1%	
食堂喫茶	2,493	△ 5	△ 0.2%	
雑貨	雑貨	12,928	△ 247	△ 1.9%
	化粧品	16,557	5,859	54.8%
	計	29,486	5,612	23.5%
サービス	826	△ 264	△ 24.2%	
その他	6,085	210	3.6%	
合計	128,789	4,910	4.0%	

## 4. 店別売上高予想

(単位：百万円)

	平成30年度通期予想		
	金額	対前年増減額	増減率
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	121,700	4,026	3.4%
上本町店	24,400	97	0.4%
東大阪店	3,200	△ 185	△ 5.5%
奈良店	25,200	224	0.9%
橿原店	15,700	△ 1,158	△ 6.9%
生駒店	7,200	△ 1,651	△ 18.7%
和歌山店	21,200	△ 226	△ 1.1%
草津店	11,400	28	0.3%
四日市店	20,700	△ 942	△ 4.4%
名古屋店 (近鉄パッセ)	8,200	△ 632	△ 7.2%
合計	258,900	△ 419	△ 0.2%
(注) あべのハルカス近鉄本店単独	117,800	4,779	4.2%